

平成13年度事業報告について (平成13年4月1日から平成14年3月31日まで)

概要

尾瀬の優れた自然環境を保全し適正な利用を図るため、入山者指導等の事業を実施するとともに受託事業として植生復元事業、ビジターセンター等利用施設の維持管理事業及び国立公園利用適正化推進事業を実施した。

また、尾瀬賞の実施、尾瀬ボランティア活動の充実強化、尾瀬通信の発行やインターネットによるホームページを活用した情報提供を行ったほか、福島県須賀川市で開催された「うつくしま未来博」や群馬県で開催された「第16回国民文化祭・ぐんま2001記念イベント」に出展し、財団の活動について広く理解を求めるとともに尾瀬の保護と適正利用の啓発を図った。

理事会等諸会議の開催

財団の適正な運営を図るため、理事会及び評議員会を開催した。また、財団の運営や諸施策について検討を行うため企画運営委員会を設置し、意見交換等を行った。

1 理事会の開催

(1) 第13回理事会

- ・日 時 平成13年6月15日(金)午後1時30分～午後2時35分
- ・会 場 都道府県会館(東京都千代田区平河町)401会議室
- ・議 事

議 案

- 1 平成12年度事業報告について
- 2 平成12年度決算について
- 3 評議員の辞任に伴う後任評議員の選任及び任期満了に伴う改選について
- 4 尾瀬賞運営委員会委員の辞任に伴う後任委員選任、任期満了に伴う改選等及び委員長の選任について
- 5 企画運営委員会設置要綱の制定について
- 6 基本財産への繰り入れ及び運用について

報告事項

- 1 平成13年度公益事業振興補助事業の実施について
- 2 尾瀬サミット2001の開催概要について
- 3 第5回尾瀬賞の募集について
- 4 第12回評議員会の概要について

(2) 第14回理事会

- ・日 時 平成14年3月26日(火)午後1時30分～午後3時5分
- ・会 場 都道府県会館(東京都千代田区平河町)401会議室
- ・議 事

議 案

- 1 平成13年度事業計画の変更について
- 2 平成13年度収支予算の変更について
- 3 平成14年度事業計画について
- 4 平成14年度収支予算について

報告事項

- 1 第5回尾瀬賞受賞者について
- 2 第13回評議員会の概要について

2 評議員会の開催

(1) 第13回評議員会

- ・日 時 平成13年6月15日(金)午前10時30分～午前11時45分
- ・会 場 都道府県会館(東京都千代田区平河町)401会議室
- ・議 事

議 案

- 1 平成12年度事業報告について
- 2 平成12年度決算について
- 3 理事の選任について

報告事項

- 1 評議員の改選について
- 2 企画運営委員会設置要綱の制定について
- 1 評議員の改選について
- 3 尾瀬サミット2001の開催概要について
- 4 第5回尾瀬賞の募集について
- 5 第12回理事会の概要について

(2) 第14回評議員会

- ・日 時 平成14年3月26日(火)午前10時30分～午後12時5分
- ・会 場 都道府県会館(東京都千代田区平河町)401会議室
- ・議 事

議 案

- 1 平成13年度事業計画の変更について
- 2 平成13年度収支予算の変更について
- 3 平成14年度事業計画について
- 4 平成14年度収支予算について
- 5 理事の辞任に伴う後任理事の選任について

報告事項

- 1 第5回尾瀬賞受賞者について
- 2 第13回理事会の概要について

3 企画運営委員会の開催

(1) 第1回企画運営委員会

- ・日 時 平成13年8月7日(火)午後1時30分～
- ・会 場 都道府県会館(東京都千代田区平河町)408会議室
- ・議 事

報告事項

- 1 委員会設立の経緯について
- 2 今年度の財団事業について
- 3 今シーズンの尾瀬の状況について
- 4 尾瀬の現状と課題について
- 5 理事の辞任に伴う後任理事の選任について

審議事項

- 1 財団が取り組むべき当面の課題について
 - 2 尾瀬サミット2001の開催について
- (2) 第2回企画運営委員会
- ・日 時 平成14年1月22日(火)午後1時30分～
 - ・会 場 都道府県会館(東京都千代田区平河町)410会議室
 - ・議 事

報告事項

- 1 平成13年度事業経過について
- 2 平成13年度の尾瀬の状況について
- 3 尾瀬地区のゴミ処理について
- 4 平成14年度尾瀬地区交通対策について

審議事項

- 1 平成14年度事業計画(案)について
- 2 尾瀬保全推進基本計画(案)の策定について

事業実績

1 利用者指導事業

(1) 入山者指導事業

尾瀬への入山口における指導

尾瀬の入山口(鳩待峠口・沼山峠口・大清水口)において入山者への指導(案内・啓発など)を尾瀬ボランティアの協力を得て実施した。また、鳩待峠口にボランティアの活動拠点となる「ボランティアハウス」を整備した。さらに関係団体や尾瀬山小屋組合と連携してごみの持ち帰り運動を実施するなど尾瀬の環境美化や利用者マナーの啓発に努めた。

また、軽装者の事故を防止するため、関係者の協力を得て新たに鳩待峠口で貸し靴(登山靴)事業を試行的に実施した。

尾瀬ガイドの実施

環境省や尾瀬山小屋組合と連携して尾瀬ツアーを計画している旅行会社や尾瀬関係書籍の出版社等を対象に尾瀬の現状と適切な利用方法を説明し、ツアー募集パンフレットや尾瀬に関する書籍の発行等に際して、利用者へのマナー啓発や利用の分散化への協力を呼びかけた。

東京地区 平成14年 1月29日 国際観光会館 参加41社

大阪地区 平成14年 2月 8日 大阪駅前第3ビル 参加16社

尾瀬ボランティアの活動支援

尾瀬ボランティア(平成14年3月31日現在登録者数:520名)により入山口指導、美化清掃活動、移入植物除去作業及び植生復元作業等を実施するとともにひと味違った尾瀬の楽しみ方を知ってもらいながら自然や環境保全への関心を高めてもらうためのインタープリテーション活動などを実施した。

平成13年度の活動内容は次のとおりである。

ア 鳩待峠、沼山峠等における入山者指導

尾瀬でのマナーや現地状況の説明、入山口での靴底の種子落としの指導、団体ツアー客向けマナー指導、軽装者への注意喚起、尾瀬地域の美化清掃活動

平成13年度尾瀬ボランティアによる入山者指導活動状況

	5/20 ~ 6/30	7/1 ~ 8/12	9/22 ~ 10/13	計
鳩待峠	86人	77人	60人	223人
沼山峠	32人	56人	26人	114人
大清水	17人	6人	11人	34人
合計	135人	139人	97人	371人

イ 至仏山東面登山道整備作業

- ・ 柵立てとロープ張り 平成13年 6月25日
- ・ 柵はずし等 平成13年10月15日

ウ 移入植物除去作業

- ・ 鳩待峠～小至仏山 平成13年 7月25日
- ・ 三平下 平成13年 8月10日

エ スポット解説活動

- ・ インタープリテーション研修(現地)
 現地 平成13年6月18日～19日、同年6月21日～22日
 講座 平成13年8月18日～19日(群馬県宮城村「キャンプ・ワンダー」)
- ・ お話しボランティアの実施状況

	6/1 ~ 6/22	7/19 ~ 7/30	8/3 ~ 10/10	計
日数	5日間	4日間	6日間	15日間
尾瀬ヶ原地区	13人	15人	24人	52人
尾瀬沼地区	13人	13人	21人	47人
合計	26人	28人	45人	99人

オ 至仏山中腹荒廃地植生復元作業

平成13年9月8日

カ 2001ありがとう尾瀬清掃活動

平成13年9月30日、平成13年10月14日

キ 県道沼田檜枝岐線(一ノ瀬～岩清水間)植生回復作業

平成13年10月18日～20日

ク その他

尾瀬での自主ボランティア活動、旅行会社パンフレットの収集、身近な地域でのボランティア活動など

尾瀬の情報提供

尾瀬のシーズン中に月2回、NHK前橋放送局によるラジオFM放送に職員が出演し、尾瀬全般の情報と今の見所などを含めた情報を現地から生放送で視聴者に伝えた。

ビジターセンターの利用に関する意見交換会

財団が管理運営を行うビジターセンター業務全般について、利用者の視点から見たビジターセンターのあり方等に関して旅行会社、ボランティアなどから意見を聴取するため会議を開催した。

- ・ 日時 平成14年3月20日
- ・ 場所 社団法人日本交通協会特別会議室

- ・出席者 尾瀬ボランティア、尾瀬山小屋関係者、旅行会社、施設設置者など16名
- 啓発PR事業

ア 尾瀬保護及び財団PR事業

尾瀬の保護と財団のPRを図るため、各種イベント等に参加し、会場内に「尾瀬コーナー」を設け、尾瀬における利用マナーの向上と平日利用の呼びかけ等を行った。

出 展 期 間	イ ベ ン ト
平成13年 5月24日 ～ 6月 5日	尾瀬の写真展（TEPCO 銀座店）
平成13年 7月 6日 ～ 7月18日	うつくしま未来博（福島県須賀川市）
平成13年 7月28日 ～ 8月 5日	沼田市立図書館主催「尾瀬・玉原展」
平成13年 8月15日 ～ 8月19日	山岳写真同人ケルン第10回記念写真展（群馬県太田市）
平成13年 9月30日	ぐんま環境フェスティバル2001（群馬県庁県民ひろば）
平成13年10月 6日 ～ 11月 5日	国民文化祭 ぐんま2001「第5回企画展」（群馬県立自然史博物館）
平成13年11月 7日 ～ 11月11日	国民文化祭2001記念イベント（群馬県庁）

イ 第6回NHK「わたしの尾瀬」フォトコンテスト及び写真展の開催

NHKとの共催により尾瀬の「自然」、「動植物」、「人物」、「保護」をテーマとしたフォトコンテストを実施し、入選作品や財団パネルを展示するとともにスライドレクチャーを行い、自然保護について理解を深めた。

- ・応募状況 応募総数 785点、入選数 50点
- ・開催期間等 平成13年12月 7日～12月12日 群馬・高崎シティギャラリー
平成14年 1月19日～ 1月24日 福島・うすい百貨店郡山店
平成14年 3月13日～ 3月18日 新潟・新潟大和デパート
ほか4会場で開催（引き続き開催中）

ウ 「尾瀬、昔の写真展」の開催

尾瀬に対する保護思想の普及啓発や資料の収集・保全を図るため、平成8年度に公募を行った昔の尾瀬の写真を展示する「尾瀬、昔の写真展」（パート2）を開催した。

- ・平成13年12月22日 桐生地域地場産業振興センター（NHK写真展と共催）
～ 12月26日
- ・平成14年 2月27日 柏崎ソフィアセンター（NHK写真展と共催）
～ 3月10日

ほか2会場で開催（引き続き開催中）

エ 第3回「尾瀬フォーラム」の開催

当財団の取組みを広く紹介し、尾瀬に心を寄せる方々とのふれあいを深めるため、3回目の尾瀬フォーラムを開催した。

- ・開催日 平成13年12月7日（金）

- ・開催場所 群馬・高崎シティギャラリー・コアホール
- ・講師 渡辺博栄気象予報士（財団法人日本気象協会）
- ・参加人員 280名

(2) 自然解説事業

自然解説活動の実施

尾瀬山の鼻及び尾瀬沼の両ビジターセンターに自然解説員を配置し、朝夕の自然観察会やセンター内においてスライドレクチャーなどを実施した。

また、自然解説活動の一層の充実を図るため、ハイシーズン及び平日の啓発・指導活動を実施した。

ア 尾瀬山の鼻ビジターセンターにおける自然解説活動実施状況

・自然観察会	実施回数	102回	参加人数	1,210人
・スライドショー	実施回数	98回	参加人数	2,791人
・ハイビジョン上映会	実施回数	41回	参加人数	423人
・団体レクチャー	実施回数	42回	参加人数	1,239人

イ 尾瀬沼ビジターセンターにおける自然解説活動実施状況

・自然観察会	実施回数	175回	参加人数	2,243人
・スライドショー	実施回数	82回	参加人数	4,582人
・マルチスライド上映会	毎日8回実施		参加人数	16,049人
・団体レクチャー	実施回数	20回	参加人数	1,181人

子ども用尾瀬自然環境ミニブック作成（群馬県委託事業）

尾瀬を訪れる学校、団体の事前学習や尾瀬でのレクチャーなどで活用するため、尾瀬の自然環境や環境保全のための取組みについて、子ども向けに分かりやすくまとめた「尾瀬ミニブック」を作成した。

ネイチャースクールの開催

自然の中で、自然と人との関わりを考える場として、一般の方々を対象にした第5回ネイチャースクールを実施した。

- ・テーマ 「尾瀬の自然と檜枝岐の歴史」（檜枝岐村を中心に開催）
- ・時期 平成13年7月28日（土）～29日（日）

(3) 指導者養成事業

指導者養成

尾瀬における自然解説活動の充実や自然解説員の資質向上を図るため、「自然解説指導者研修」に職員を派遣し、自然解説指導者としての養成を行った。

利用者指導のための資料の収集

入山者指導や自然解説活動に必要な資料の収集を行った。

(4) 啓発資料作成事業

啓発パンフレットの発行

尾瀬の案内、マナー、自然解説等の啓発資料としてセルフガイドの見直しを行った。

また、尾瀬地域の交通対策のパンフレットを作成して、関係者や一般の方々に配布し、交通規制の内容について周知を図った。

入山者指導用ビデオの活用

尾瀬についての理解を深めてもらうため、平成11年度に作成した啓発用ビデオをイベント等で放映するとともに、シャトルバス運行会社等に配付し車内での活用を依頼した。

2 環境保全事業

(1) 植生復元事業

環境省、群馬県及び福島県からの受託事業として、アヤマ平・横田代、至仏山東面登山道周辺、沼尻地区及び見晴地区における裸地・荒廃した湿原の植生復元事業を実施した。

- ・至仏山東面登山道周辺の植生復元作業
- ・沼尻周辺の植生復元及び尾瀬沼周辺の立入防止柵の設置等
- ・アヤマ平・横田代植生復元作業
- ・見晴地区の植生復元及び立入防止柵の設置等

3 施設管理事業

(1) 施設維持管理事業

ビジターセンターの管理運営

環境省から尾瀬沼ビジターセンター並びに浄化槽・汚泥処理施設等及び見晴地区諸施設の管理運営を、群馬県から尾瀬山の鼻ビジターセンターの管理運営をそれぞれ受託し実施した。

ビジターセンター運営期間 平成13年5月中旬～10月下旬

公衆トイレの維持清掃

環境省から尾瀬沼地区公衆トイレの維持清掃を、群馬県から尾瀬山ノ鼻公衆トイレ及び竜宮公衆トイレの維持清掃をそれぞれ受託し実施した。

なお、トイレの維持清掃費等の一助とするため、山ノ鼻公衆トイレ及び竜宮公衆トイレに「協力金募金箱」を設置し、利用者への協力を呼びかけた。

(2) 利用者対策事業

尾瀬沼及び尾瀬山の鼻の両ビジターセンター内に利用者のためのコース案内を掲示した。

4 調査研究事業

(1) 国立公園利用適正化推進事業

日光国立公園尾瀬地区の貴重で繊細な自然環境を将来にわたり保全していくため、平成11年度に構築した国立公園利用適正化システムの改善・充実を図り、より具体的・効果的な方策を検討するための事業を環境省から受託して実施した。

利用適正化推進事業

指導マニュアルや各種パンフレット等を作成・活用し、尾瀬の各入山口や尾瀬地域内外において利用適正化の啓発活動を実施した。また、ホームページを運用し、インターネットを利用したリアルタイム情報の提供による適正利用の啓発活動を実施した。

利用分散化推進事業

ア 適正収容力の検討

利用者数と自然環境への影響や利用快適性との関係を明らかにするため、その調査方法を検討するとともに必要な調査を実施した。

イ マイカー規制等の効果検証

マイカー等規制による効果を検証するため、マイカー利用者の意識調査を行った。

ウ 旅行会社に対する働きかけの強化

旅行会社の添乗員を対象とした研修会を行った。

エ 非混雑日(期)への利用者誘導手法の開発

尾瀬の利用者を非混雑日(期)へ誘導するため、ハイシーズンでない平日の尾瀬において、写真撮影テクニックやマナーの向上を目指した写真撮影講習会を開催した。

自然改変状況モニタリング調査事業

ニホンジカによる植生破壊状況を把握するため、赤外線航空写真撮影を行った。

ごみ処理対策検討調査事業

ごみ発生量と処理方法の実態を把握するための調査等を行い、尾瀬の特殊性を踏まえた実効性のある処理システムについて報告した。

野生生物安全管理方策検討調査事業

クマと共存しながら利用者の安全を確保するため、クマに関して利用者向けの注意を喚起するパンフレットを配布した。

尾瀬の自然読本作成事業

尾瀬の自然について、一般の方々に分かりやすい「(仮称)尾瀬自然読本」を作成するため、平成14年1月28日(月)に編集委員会を開催し、原稿の執筆に着手した。

5 顕彰事業

環境保全に関する学術研究等を支援するため、第5回尾瀬賞の募集と選考を行った。

- ・ 尾瀬賞選考委員会 平成13年12月 3日
 第5回受賞候補者選考方法について
 平成14年 1月28日
 第5回受賞候補者の選考について
- ・ 尾瀬賞運営委員会 平成14年 2月25日
 第5回受賞者の内定及び第6回尾瀬賞の募集について
- ・ 第5回尾瀬賞受賞者 澤 井 祐 紀 氏
 国際日本文化研究センター日本学術振興会特別研究員(PD)

6 友の会会員の募集

友の会会員の拡充を図るため、関係機関や関係団体等に入会を呼びかけるとともに、各種イベント及びインターネットのホームページを通して会員の募集を行った。会員に対して会員証を交付するとともに定期的に会報(お知らせ)を送付するなど、尾瀬に関する情報の提供を行った。また、友の会会員が開催する写真展について、財団ホームページに掲載し広く周知した。

平成11年度末現在	賛助会員11社	個人会員1,218人
平成12年度末現在	賛助会員10社	個人会員1,245人
平成13年度末現在	賛助会員14社	個人会員1,288人

7 その他の事業

(1) 尾瀬サミット

平成13年9月11日(火)~12日(水)に尾瀬沼ヒュッテにおいて川口環境大臣を迎えて「尾瀬サミット2001」の開催を予定していたが、台風15号の関東地方接近により気象状況・道路状況等を勘案して中止した。

(2) 特定公益増進法人の継続認定

基本財産の拡充を図る観点から財団への寄付金が税制上の優遇措置を受けられることとなる特定公益増進法人として平成13年7月13日付けで継続認定を受けた。

8 収益事業(特別会計)

財団の事業活動の財源を確保するため、尾瀬山の鼻及び尾瀬沼の両ビジターセンターを中心に尾瀬に関する書籍、地図及び絵はがき等の販売を行ったほか、群馬県からの委託により「ぐんま自然環境カレンダー2002」の販売を行った。